

2社のSDGs宣言策定を支援 ～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社のSDGs宣言策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づくSDGs宣言策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

《SDGs宣言策定企業の概要》（宣言内容の詳細は別紙を参照ください）

企業名	有限会社 スリーエーシステム	メイジテクノ 株式会社
代表者	代表取締役 上田 英雄	代表取締役社長 石口 孝貴
所在地	埼玉県入間郡三芳町みよし台7-8	埼玉県入間郡三芳町竹間沢322-1
事業内容	食品運送事業	光学顕微鏡の設計開発及び製造販売
設立	2003年12月2日	1975年8月23日
宣言内容	<ul style="list-style-type: none">・安全運転を通じて『食品物流会社』のあるべき姿を目指す・地域人材や女性を積極採用し、ダイバーシティ経営を推進する・環境、顧客にやさしい物流サービスを提供していく・確かな運転技術やコンプライアンスの徹底により、物流会社としての責任を果たしていく	<ul style="list-style-type: none">・50年以上磨き上げてきた技術開発力で社会貢献を続けていく・皆が働きがいがあり、スキルアップできる職場を目指す・健康経営や働き方改革により、更にやりがいのある職場を実現する・廃棄物や温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指します・『ヒトのこと 社会のことを想い』地域に貢献していく

以上

報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)





有限会社スリーエーシステム SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 上田 英雄

SDGsの達成に向けた取り組み

安全運転を通じて『食品物流会社』のあるべき姿を目指す

- ・当社は食料品を取り扱う物流会社として、安全運転はもちろん、高いレベルの品質管理と食品ロスの徹底的な削減が求められています。
- ・そこで、日々の体調管理や定期的な健康診断によりドライバーの健康への配慮を行っているほか、ドライバーへプロの技術を教え「あるべき姿」の実現につとめています。
- ・また、トラック全車に導入済みの『デジタルタコメーター』を活用し、「エコドライブ」と「安全運転」を推進していきます。具体的には、ドライバーの運行結果を100点満点で評価し、一定以上のドライバーを表彰する制度の運用を開始します。



【指標】 2030年 ドライバーの『デジタルタコメーター』の平均得点 95点以上のドライバーの割合 100%

地域人材や女性を積極採用し、ダイバーシティ経営を推進する

- ・事業の拡大を計画していることから、これからも地域人材（特に女性）を積極的に採用していきます。
- ・短時間勤務等の多様な働き方に関する制度を充実させ、再就職したい女性を積極的に採用していきます。また、女性のリーダー職を計画的に育成していきます。
- ・これらをはじめとした取り組みにより、『物流会社の2024年問題』に前向きに取り組んでいきます。



【指標】 2023年 女性従業員の割合/女性リーダーの数 16%/0名 ⇒ 2030年 30%/3名
地域人材の新規採用数 ⇒ 2030年まで 累計 20名

環境、顧客にやさしい物流サービスを提供していく

- ・数多く所有する配送トラックについては、順次環境配慮型のトラックへ入れ替えを行っていきます。
- ・また、輸送の効率化や配送ルートの見直しを継続し、引き続きCO₂排出量の削減につとめていきます。
- ・ドライバーへは、省エネ運転の講習やミーティングを定期的を実施し、環境にやさしい物流サービスの提供を行っていきます。



【指標】 2023年 社有車の環境配慮型車両の比率 25% ⇒ 2030年 85%

確かな運転技術やコンプライアンスの徹底により、物流会社としての責任を果たしていく

- ・物流会社としての責任を果たすため、「運行管理者」や「整備管理者」の資格保有者を増やしていきます。
- ・ドライバーへは、講習会での技術指導に加え、指導員が同乗して直接運転技術の指導を行うことで、交通ルールを遵守し、確かな運転技術を持つ物流会社を目指していきます。



【指標】 2023年 運行管理者資格の取得者割合 20% ⇒ 2030年 30%



2023年12月14日

メイジテクノ株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 石口 孝貴

SDGsの達成に向けた取り組み

50年以上磨き上げてきた技術開発力で社会貢献を続けていく

- 当社は1964年に顕微鏡の製造を開始し、1975年にはMEIJITECHNOブランドを立ち上げ、独自の製品で顕微鏡の世界に新しい価値を生み出し、製品を通じて工業や医学、教育をはじめとした様々な業界に貢献してきました。今後も、顕微鏡を必要とするお客様のますます多様化するニーズに、豊富な知識に基づくソリューションと高品質な製品で応えていきます。
- また、全社一丸となってお客様へのアフターサービスに取り組み、専門性を持った技術サポートにより柔軟かつ迅速なアフターサービスを提供していきます。



皆が働きがいがあり、スキルアップできる職場を目指す

- 光学製品製造に関する知識やスキルを、次世代である中堅や若手に承継していきます。そのため、地域の若者を積極的に採用し、技術者として育成していきます。
- 具体的には、組立手順書の作成件数を増加させ、きめ細やかな若手への教育を行っていきます。
- また、誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性や高齢者も積極的に採用していきます。



【指標】

光学製品製造に関する知識やスキルに関する「手順書」の作成数 ⇒ 2030年 累計50件
地域からの若者や女性・高齢者の採用数 ⇒ 2030年 累計10名

健康経営や働き方改革により、更にやりがいのある職場を実現する

- 従業員の健康の維持増進や工場の職場環境改善に努めています。具体的には、残業時間ゼロを継続していくほか、本社工場への設備投資を継続的に行い、職場環境の改善を行っていきます。
- また、お互いにコミュニケーションのしやすい職場づくりを行っていくと共に、福利厚生制度の充実化や、社内レクリエーションの推進を図っていきます。
- 人事評価制度の継続的な見直しにより、従業員のモチベーションUPを図っていきます。



廃棄物や温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指します

- 設計段階から省エネ製品の開発を心掛けると共に、共有可能部品の採用や部品のリサイクル等にも取り組んでいます。
- 社内のペーパーレス化（電子化、業務タブレット導入、他）を進めていくほか、取扱説明書等のPDF化や動画化を検討していきます。
- 梱包関連資材の素材変更や改善見直しを継続的に行い、梱包材料の削減を図っていきます。



【指標】 2023年 コピー用紙の購入枚数 80,000枚 ⇒ 2030年 64,000枚 (▲20%)

『ヒトのこと 社会のことを想い』地域に貢献していく

- 教育に携わる企業として、地域の子どもたちや顕微鏡に関心のある方々の職場体験や工場見学を受け入れていくと共に、学校等に出張するワークショップも実施していきます。
- 今後も取引先やパートナーとの連携を高めることで業界の発展や地域貢献を行っていきます。



【指標】 2023年 工場見学やワークショップの開催回数 7回/年 ⇒ 2030年 12回/年 (+5回)